



循環研の映画会

ドキュメンタリー映画『宮古島からのSOS』上映会

藤本幸久 影山あさ子共同監督 2018年製作

宮古島で陸上自衛隊の基地建設に反対する人々の姿に迫ったドキュメンタリー。那覇から 300 キロ、台湾から 400 キロの位置にある宮古島では、陸上自衛隊のミサイル基地建設が進む。これに反対する人々は毎日、工事現場の入り口で抗議活動を続けている。

【映画「宮古島からの SOS」ストーリー】サンゴ礁の海に浮かぶ宮古島。集落ごとに御嶽(うたき)と呼ばれる聖地がある。その数、800 以上。宮古島は信仰の島だ。しかし今、ここに造られようとしているのは、陸上自衛隊ミサイル基地だ。木々が切り倒され、植物は剥がされてゆく。基地建設が着工してから、工事現場の入り口に立ち、毎日、抗議を続ける人々がいる。工事現場の中にある御嶽が心配だ。ある日、ゲートを越えて中に入ると、御嶽の井戸はずっかり破壊されていた。10,000 平方メートルの鬱蒼とした御嶽の森は切り倒され、わずか 4000 平方メートルのみを残すだけ。“村に災いが起きたら……”と案じる人々。人々がゲートに立ち続ける原点は戦争だ。かつて戦争で、多くの島民が犠牲になった。ハンセン病の療養所、南静園では 259 人のうち、110 人が栄養失調とマラリアで死んだ。今度また戦争になれば、食料が自給できない宮古島では、私たちはまた餓死するしかないと言っている島の人たちは言う。現在、航空自衛隊のレーダー基地がある野原(のぼる)岳は、かつて日本軍の司令部が置かれていた場所だ。新たに基地が作られれば、野原集落は二つの基地に挟まれてしまう。ミサイル基地が建設されているのは、宮古島だけではない。奄美大島、沖縄島、宮古島、石垣島、与那国島と、琉球弧全体を戦争の最前線基地にする計画が進んでいる。ミサイル基地建設現場の真ん前でメロンを作る農家の仲里さんは、“自分の故郷を戦場にはさせない。自分の畑の前から戦争が始まることは許さない”と声を上げ続けている。宮古島からの SOS、住民たちの声に耳を傾けてほしい。宮古島で闘い続けている人々に、この映画で出会って欲しい。(制作:森の映画社/60分)

開催日時 2019年8月21日(水) 15:00~16:30

開催場所: 東京スクエアガーデン 6F 中央区立環境情報センター 研修室1

銀座線「京橋駅」A3 出口直結
 有楽町線「銀座1丁目」7番出口 2分
 都営浅草線「宝町駅」A4 出口 2分
 JR『東京駅』八重洲南口 6分
 JR『有楽町駅』京橋口 6分

参加費: 無料

☆お申込み/お問い合わせ先☆
NPO 法人循環型社会研究会 事務局

Tel: 03-6427-9768

Fax: 03-6745-3301

E-Mail: junkan@nord-ise.com

ホームページ: <http://junkanken.com>

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-1-1
 東京スクエアガーデン14階



FAX での申し込み 03-6745-3301

フリガナ氏名: _____ 所属・役職: _____

住所: 〒 _____

電話番号: _____ E-Mail: _____

●ご記入いただいた個人情報は、本セミナー関連のご連絡以外には使用いたしません。